

# 耳（<sup>ちょうかく</sup>聴覚）の<sup>かびんしょう</sup>過敏症のおはなし

皆さんは、「<sup>かびんしょう</sup>過敏症」って、知っているかな？

例えば、皆さんがよく知っている<sup>かふんしょう</sup>花粉症も、<sup>けつえき</sup>血液（<sup>めん</sup>免疫）の<sup>かびんしょう</sup>過敏症と言えるかもしれないね。そういう子も、クラスに何人かいるんじゃないかな（ホント、<sup>かふん</sup>花粉の時期はつらいよね～）。

それが、耳（<sup>ちょうかく</sup>聴覚）や目（<sup>しかく</sup>視覚）にある子も、<sup>いがい</sup>意外といえるんだよね。ここでは、<sup>かびんしょう</sup>耳の過敏症についてのお話をするね。

<sup>かびんしょう</sup>耳の過敏症のある子は、とっても耳が良くて、大事な音も、そうでない音も、自分で<sup>えら</sup>選べずに受け取ってしまうんだ。だから、にぎやかな場所にずっといたり、苦手な音で不安になったりして、時々、学校をお休みしたくなるほど、すごく<sup>つか</sup>疲れたり、<sup>なか</sup>お腹が痛くなってしまうこともあるんだよ。



でも、例えば「イヤーマフ」という<sup>みみあ</sup>耳当てや、<sup>みみせん</sup>耳栓をすることで、少しラクになることがあるよ（大事なお話は、ちゃんと聞こえているよ）。だから、もし、クラスに<sup>かびんしょう</sup>耳の過敏症で、イヤーマフや<sup>みみせん</sup>耳栓を使っている子がいたら、<sup>かふんしょう</sup>花粉症の人のマスクと同じようなモノと思ってね。

でも、もしかしたら、クラスの中には、学校をお休みするほどじゃなくても、耳が良いほうで、大きな音やザワザワした音がちょっと苦手な子も、何人か、いるんじゃないかな。



もし、今、教室がいつもとってもにぎやかだったとしたら、それは、<sup>かびんしょう</sup>耳の過敏症のある子にとっては、<sup>かふんしょう</sup>花粉症の人がスギ林の中にいるようなことかもしれないね（マスクだけじゃ、足りないかも！）。

皆が元気に楽しく過ごすのは、とってもステキなことだよ。

でも、もしも、<sup>かびんしょう</sup>耳の過敏症のある子が、大きな音やにぎやかな場所で、「つらいなあ」と思っていたら、ほんの少しだけ、ご協力をお願いします。